

研究農場では、今年も、天敵放飼防除試験(対照害虫:コナジラミ)を実施します！
今作は、大玉トマトのハウスでバコトupp(タバコカスミカメ)実証試験を行います。
バンカープランツにクレオメを使います。

バコトupp(タバコカスミカメ)とは？

- ・体長は3.5mmほどの、匂いのしないカメムシ
- ・コナジラミ類、アザミウマ類の成虫や幼虫を探索し捕食する
- ・現在：きゅうり（施設栽培）でアザミウマ類に、
トマト（施設栽培）、ミニトマト（施設栽培）でコナジラミ類に、
適用がある

バンカープランツとは何？クレオメとは？

★バンカープランツの役割

ハウス内に天敵昆虫のバコトuppを放飼しても、トマトだけでは
増殖（卵を産み、数が増える）しにくく、定着しにくい。

バンカープランツのクレオメの設置により、バコトuppがクレオメに
引き寄せられ、増殖でき、ハウス内に定着させることができる。

★クレオメについて

フウチョウソウ科セイヨウフウチョウソウ属（クレオメ属）の一年草。
熱帯アメリカ原産で、白や桃色の花を咲かせるため観賞用に栽培する
ことが多い。茎に小さなトゲがあるため、手入れする際は注意が必要。
ハウス内暖房使用により、冬越し栽培可能。



←
成虫

→
幼虫



→
クレオメ



何を試験するのか

バコトupp使用時の防除暦の確立が今回の試験の目的です。
昨年試験した際は、初秋のバコトupp導入前のコナジラミ数を減らすことが
不十分で、バコトupp導入も思うような効果が得られない状態になりました。
今年度は、夏のコナジラミ防除を徹底するとともに、クレオメをトマトの
群落内に設置し、バコトuppのトマトへの移動をスムーズになるようにします。

試験の評価項目としては、

- ①TY発病株数 ②捕虫シート上のコナジラミ数 ③農薬使用回数などを
予定しております。